

# 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	292500030		
法人名	社会福祉法人貴望会		
事業所名	グループホーム第二みほの		
所在地 (電話番号)	〒039-3144 青森県上北郡野辺地町一ノ渡19-1 (電話) 0175-64-1630		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 11月 19日	評価確定日	平成 21年 1月 26日

**【情報提供票より】(平成20年11月5日事業所記入)**

**(1) 組織概要**

開設年月日	昭和(平成) 18年 12月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15人

**(2) 建物概要**

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

**(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)**

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬期9,000 円
敷 金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

**(4) 利用者の概要(11月5日現在)**

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	10 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

**(5) 協力医療機関**

協力医療機関名	ちびき病院
---------	-------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

<p>国道に近いので、外出の際の交通の便も良く、住宅に囲まれた地域に立地している。玄関に入って直ぐに広々としたホールがあり、入居者は自分の好きな場所でくつろいでいる。ホールの大きな窓からは周辺の田んぼで農作業する住民の姿がみられるなど、四季折々の景色が心を和ませてくれる。職員は「その人らしく生活出来るように」という理念を全員で共有し支援できている。</p>
---

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回課題となった運営推進会議については、運営推進委員会を立ち上げ会議を実施している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者がまず自己評価を行い、その後全職員で各項目について確認、話し合いが行われている。自己評価を基に積極的な改善項目の検討が行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では事業報告をし、委員の方より意見を聞いている。今年度は2回の開催予定である。会議を通して意見を寄せてもらい、それらを運営に反映させ、入居者がより良い生活を送れるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>契約前の説明時に家族の要望を聞き、入居後は家族アンケートなども活用し意見を確認している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内の行事に参加したり、隣近所の方が度々遊びに来たりして、挨拶も自然と交わされ、顔なじみになっている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの考え方を反映させたホーム独自の理念を基に「健康で普通の暮らしが出来る」を第一に考え、その人らしく生活出来るように支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、ホール、スタッフルーム内に理念が掲示されており、ケアスタッフも日々の生活の中で理念を意識し、支援している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	隣近所の方が度々遊びに来られ入居者だけでなくその家族の方も顔なじみとなっている。地域の方から野菜をもらったり、職員が周辺の草取りをしたりするなど、交流が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員会議などで外部評価、自己評価の意義を伝え、理解している。また前回の外部評価を活かし、課題については改善にむけて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>第一回目の運営推進会議に管理者、計画作成者、利用者が参加し、事業報告を行い、委員より意見をもらっている。今年度は、あと一回実施を検討している。</p>		<p>前回調査に比べると改善は見られるが、概ね2か月に1回の運営推進会議の開催は義務になっているので、今後の定期的な開催が望まれる。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月に2～3回市町村の担当者へ出向き状況報告や相談、情報交換をしている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者に制度を利用している方がおり、スタッフも理解している。マニュアルは、いつでも確認出来るようにファイリングして事務所にて管理している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>業務中やカンファレンスの中でも助言し、理解を求め、虐待防止に努め、マニュアルもファイリングしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前に管理者がパンフレットを活用して説明している。管理者が不在時には、計画作成担当者が説明している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>契約者にかかる費用は、確認し了解している。三ヶ月に一回は通帳、領収書のコピーと本人の暮らしがみえる写真等も添えて郵送している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現在のところ、苦情はないが、面会時などに家族からの意見や要望を吸い上げるよう努めている。また、外部にも相談窓口があることを説明しているほか、介護相談センターの方が年2回の来訪時には必要に応じて相談することができる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内での異動はない。新人指導の為のマニュアルに基づき管理者と看護師が指導している。仕事に慣れるまでベテランと組ませるよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	指導マニュアルがある。医療に関しては、看護師が指導し入居者との関わりなどについては管理者が指導している。カンファレンスの時には外部研修の報告も含め指導している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護保険交流会議は、管理者のみ参加している。交流会では情報交換し、現場にも必要事項に関して伝達している。		管理者だけでなく現場職員の交流の場を増やしていくことを提案します。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前は、パンフレットだけでなく見学してもらい、入居後は、環境に慣れるまで頻度多く面会してもらうよう依頼している。職員もコミュニケーションを図るなど、なじみの関係が早期に持てるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者から野菜作りや料理の味付けを教わったり、風習や礼儀、挨拶など学んだりし、共に支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から情報を聞くほか、入居者の意向が直接確認できない場合は、普段の会話の中で感じとり、ケアに活用している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスの時にケアワーカーより情報を受けてはいるが、生活歴を考慮したケアプランにはなっていない。		生活歴や性格などを踏まえたその人らしく生活出来るようなケアプラン作成を期待したい。
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアワーカーより情報を聞き取り、定期的な見直しをし、新たなケアプランを作っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の定期受診の送迎など、柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医に受診・往診できるよう支援している。町内の病院も急変時等なども含め相談にのってくれ、協力が得られている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在のところ、看取りは行っていない。急変等の場合には入院が必要になるまでホームでの生活が送れるよう家族や医師と連携を図っている。</p>		<p>ホームでの看取りが可能になるような体制整備を検討課題としてホームでは認識しているので、今後の取り組みに期待したい。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄時の誘導は、行動を察知して、耳元でさり気なく声掛けするなどプライバシーの保護に努めている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の生活を大切にし時間的制約をしていない。レクリエーションへの参加は、本人の意思に任せているが、参加しない方のそばに職員が寄り添い、コミュニケーションを図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一緒にテーブルでスタッフも同じ食事をとり、会話も笑い声も聞かれにぎやかな食卓となっている。また、食事の準備から後片付けまで、スタッフと一緒にする場面もあった。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は、取り決めはしているものの本人の状態に合わせて変更したりする場面もある。清拭、足浴も行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>毎朝の掃除(掃く、拭く)の作業分担が利用者間で自然に出来ている。更に食器の下膳なども行っている。レクリエーションなど使用するお手玉を縫ってくれたりしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>春から11月までは季節の行事に積極的に参加したり、ドライブや散歩に出掛けたりしている。また外出した際には道端のアイスクリーム屋さんに立ち寄るなど、気分転換できるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員も身体拘束の内容とその弊害を認識している。またいつでもマニュアルを確認出来るようファイリングし、事務所に置いている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員の視線が届かないこと、目配りの必要な入居者が複数いることもあり家族の了解のもと、やむをえず鍵をかけている。正面玄関出てすぐ目の前は車通りが多い為、事故の危険と言うリスクもある。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>日中や夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。地域の人々に協力を求めているほか、緊急連絡網を整備して職員が駆けつけられる体制ができているが、管理者以外への周知は十分とは言えない。</p>		<p>地域の人を含めた連絡体制を構築し、管理者の不在時等にも対応できるよう緊急時の対応についての資料をまとめるなど工夫されることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の水分摂取量チェックも月のデータを集計し個々の状態が確認出来ている。また、栄養摂取量少ない場合においても濃厚流動食により栄養補給を行っている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを活用しながら感染症に関する予防や対応についての学習ができている。職員、来客なども手洗い、うがいを励行している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは2ユニットで利用している。広々としてソファも置いてあり利用者がいつでも座ってテレビ観賞や利用者同士ゆったりと過ごせる空間になっている。また、湿度にも配慮し加湿器が設置されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居する際には使い慣れた家具を持ってきたり壁には、本人の思い出ある家族写真を貼ったりして本人が心地よく生活出来るようにしている。</p>		

 は、重点項目。